

警視庁における障害者活躍推進計画 取組事項一覧

取組事項 (実施状況点検対象事項)	令和5年度取組状況	令和6年度取組状況
<b>計画における達成目標</b>		
<b>採用に関する目標</b>		
法定雇用率により必要とされる数以上	令和5年6月1日時点 障害者雇用率 2.74% (法定雇用率 2.6%)	令和6年6月1日時点 障害者雇用率 2.99% (法定雇用率 2.8%)
<b>定着に関する目標</b>		
採用後1年間の定着率の維持(離職者ゼロ)	令和5年度採用者 100%	令和6年度採用者 100%
<b>推進体制の整備</b>		
<b>障害者雇用推進者の選任</b>		
障害者の雇用の促進及び雇用の継続を図るために必要な措置を講じる責任者として、「障害者雇用推進者」を選任	警務部長を障害者雇用推進者として選任	警務部長を障害者雇用推進者として選任
<b>障害者職業生活相談員の選任</b>		
障害者である職員の職業生活に関する相談及び指導を行う者として、「障害者職業生活相談員」を選任	障害を有する職員が所属する職場を中心に障害者職業生活相談員を選任した。	左記と同様に、障害を有する職員が所属する職場を中心に障害者職業生活相談員を選任した。

取組事項 (実施状況点検対象事項)	令和5年度取組状況	令和6年度取組状況
<b>職務環境の整備 施設等の整備</b>		
障害特性に配慮した施設等を整備	バリアフリー法・都条例に基づき、丸の内署・志村署の新庁舎に車椅子使用者用トイレやスロープ等を設置した。	バリアフリー法・都条例に基づき本部庁舎副玄関前にスロープ及び、大森少年センターに障害者等用駐車区画、スロープ、車椅子使用者用トイレを設置した。
障害を有する職員の職業生活に関する相談及び指導を行う者として、「障害者職業生活相談員」を選任し相談窓口を設置	障害を有する職員が所属する職場を中心に障害者職業生活相談員を選任し、相談窓口を周知した。	左記と同様に、障害を有する職員が所属する職場を中心に障害者職業生活相談員を選任し、相談窓口を周知した。
保健師によるカウンセリングの実施	相談者の障害特性を配慮しながら、要望に応じてカウンセリングを実施した。	左記と同様に、相談者の障害特性を配慮しながら、要望に応じてカウンセリングを実施した。
本人のプライバシーに配慮しながら、各所属において面談その他適切な方法を通じて配慮事項を把握し、必要措置を実施	障害を有する職員本人と面談等を行うことで、配慮事項を把握し、必要な措置を実施した。	左記と同様に、障害を有する職員本人と面談等を行うことで、配慮事項を把握し、必要な措置を実施した。
関係機関と連携した研修・講習を実施し、又は、受講し障害特性や、障害ごとの配慮事項などを学ぶことで、障害への理解を深化	障害者職業生活相談員の異動等のために新たに相談員に選任予定の者等を対象に、東京労働局が実施する「障害者職業生活相談員資格認定講習会」を受講させるなど、障害者への理解を深めた。	左記と同様に、障害者職業生活相談員の異動等のために新たに相談員に選任予定の者等を対象に、東京労働局が実施する「障害者職業生活相談員資格認定講習会」を受講させるなど、障害者への理解を深めた。

取組事項 (実施状況点検対象事項)	令和5年度取組状況	令和6年度取組状況
<b>障害を有する職員の採用</b> <b>障害を有する職員の採用等に係る取組</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者を対象とするⅢ類採用選考を実施し、継続的に常勤職員の雇用確保を実施</li> <li>・ 警視庁警察行政職員（業務）採用選考を実施し、継続的に常勤職員の雇用確保を実施</li> </ul>	令和6年度採用に向けた採用選考を実施し、障害者を対象とするⅢ類合格者は1名、警視庁警察行政職員（業務）合格者は1名であった。	令和7年度採用に向けた採用選考を実施し、障害者を対象とするⅢ類合格者は4名、警視庁警察行政職員（業務）合格者は1名であった。
障害者を対象とする会計年度任用職員（MPDオフィスサポーター）採用選考を実施し、継続的に非常勤職員の雇用確保を実施	令和6年度採用に向けた障害者を対象とする職員（MPDオフィスサポーター）採用選考を実施し、合格者は4名であった。	令和7年度採用に向けた障害者を対象とする職員（MPDオフィスサポーター）採用選考を実施し、合格者は6名であった。
業務サポートオフィスでは、特別支援学校からの職場実習を受入れ、生徒の社会参加や自立を支援	特別支援学校から実習生を受入れ、生徒の社会参加や自立の一助となるよう業務サポートオフィスを活用した。	左記と同様に、特別支援学校から実習生を受入れ、生徒の社会参加や自立の一助となるよう業務サポートオフィスを活用した。
<b>職務の選定・創出</b> <b>職務の創出</b>		
常勤職員が担っていた各種庶務事務や軽作業の一部を切り出すことにより、職務を創出（MPDオフィスサポーター）	常勤職員が担っていた各種庶務事務及び軽作業の一部を、MPDオフィスサポーターが実施	左記と同様に、常勤職員が担っていた各種庶務事務及び軽作業の一部を、MPDオフィスサポーターが実施